

# 第29回 関市私の主張大会

「第29回関市私の主張大会」が、2月5日、市役所で開催されました。これは市内の中学2年生が、学校生活や日常の体験から自分の考え方や生き方、将来の目標などについて意見発表するものです。この日は市内の全中学校から各校代表11人が集まり「私の主張」を発表しました。

最後に、同大会の生徒運営委員長から、「環境問題に対し、一人一人が行動できる中学生になるために」の提案が発表されました。



▲大会の様子は各中学校へ中継されました

照会先 学校教育課 ☎ 8125

## 努力する才能



武芸川中学校  
藤吉 皓介

僕は、野球がうまい選手は才能があるからうまいんだ、努力より才能があるからなんだと、ずっと思っていた。しかし、それは間違いだと必死に努力している仲間の姿から気づいた。僕は本物の才能を知った。才能とは生きていく中で磨き、手に入れていくものだ。だから僕は本物の才能、努力する才能を手に入れるため頑張る続ける。

## 自閉症のいところを見てきて



小金田中学校  
猿渡 万結美

私のいところは自閉症だ。周りの人とうまくコミュニケーションがとれず、相手突き飛ばしたり泣きわめいたりすると、なだめるのが大変だった。しかし、今では少しずつ成長しているいところに気が付けられることがたくさんある。私もいとこのように、周りの人を和やかにする存在になり、自分の夢を目指してまっすぐに進んでいこうと思っている。

## 今の自分と将来



武儀中学校  
打田 仁美

2年生になり、将来自分は何をしたいのかを悩むようになった。職場体験や校長先生との懇談で、保育士という夢が見えてきた。職場体験で行った保育園では、自分から積極的に関わることの大切さを学んだ。校長先生との懇談からは、自分の笑顔に誇りをもつことの大切さを教わった。まだ迷いはあるけれど、いろいろな体験をしていく中で決めていきたい。

(発表順、敬称略)



## 『井の中の蛙』かわずではないけない

板取中学校 長屋なが 育代いくよ

私はこれまで、自分の学校にしか友達が  
いなかった。でも、バレーボールを通  
して、他校の友達ができたことで、自分  
のものの見方や考え方が広がることわ  
かった。これからは、3年生として、今  
までのように井の中で満足せず、いろん  
な友達と交流し、自分や板取中を高めて  
いきたい。



## 笑う門には福来る

富野中学校 久保田くぼた 彩香あやか

私たちはテレビに笑わされている生活  
に慣れきってしまった、自分たちの生活  
の中で本当の笑顔を忘れているように思  
う。「笑う門には福来る」とことわざにあ  
るように、家庭や仲間の中で、お互いの  
何気ない温かなほほえみや笑いの中に大  
切な幸せがあると思う。そんな温かな笑  
いのある世界にしていきたい。



## 私の意志

上之保中学校 加納か 里奈りの

自分の将来と向き合うための2つの挑  
戦を通して「自分の弱さと向き合うこと」  
そして「結果をきちんと受け止めていく勇  
気」が大切なのだということを学んだ。そ  
して何より、「自分のことを自分で考え決  
定する」ということを。  
将来に向き合う勇氣がもてた今、刻一  
刻と近づく進路決定でも、私は自分の意  
志でどの道へ進むのかを決めていきたい。



## 僕の幸せ

桜ヶ丘中学校 林はやし 昌宏まさひろ

僕は補聴器の生活を送っている。友達  
や先生に事情を説明して机を前の方にし  
てもらったり、大きな声で話してもらっ  
たりして学校生活が楽しくなった。中学  
生になって自分の幸せについて考えるよ  
うになった。僕は母をはじめ多くの人に  
幸せをもらっている。だからこそ、その  
分周りの人に幸せを返していけるような  
人になろうと考え、今僕は生活している。



### 身近な環境を守るウシモツゴがすめる川に

下有知中学校 金子 柁

僕たちの学校では、絶滅危惧種に指定されているウシモツゴの飼育や寺田川の調査・掃除を行っている。ボランティアスタッフとして活動してきた僕は、職場体験学習で瀬尻小学校の人たちと中池の水路の調査を行った。これらの体験を通して、ウシモツゴがすめる川にしていきたいためには、僕たち一人一人ができることから始めていかなければならないと思った。



### 人との関わり

緑ヶ丘中学校 森 真衣子

人と関わることの本当の意味は、「困っている人や一生懸命努力している人を支えていくことだ」と、ソフトボール部の仲間や保護者の方から学ぶことができた。背中を押してくれる人たちが沢山いることは、何ものにも代えがたい宝物である。何気ない日々の中に自分を支えてくれる人がいることに感謝し、本当の意味での人との関わりを大切にしていきたい。



### 素直な気持ちで一歩前へ

旭ヶ丘中学校 平林 花菜

私は、将来のことだけでなく、今の自分を見失いかけていた。その理由を振り返るうちに、周りの人たちに甘えていることに気づいた。すべてのものと素直に向かい合えること、自分で考え実行していくことで自分を変えられると思った。そして学級委員に立候補し一歩前に踏み出した。この一歩を大切に、将来につなげたい。



### 家族が教えてくれたこと

洞戸中学校 松田 真秀

私には、自閉症という障がいを抱えた弟がいる。そのことで、私や家族がづらい思いをしたことがあったが、今は弟が家族にとって、とても大切な存在である。その弟との関わりや病院での職場体験を通して、理学療法士になりたいと思うようになった。将来、患者さんやその家族との関わりを大切にしたい。